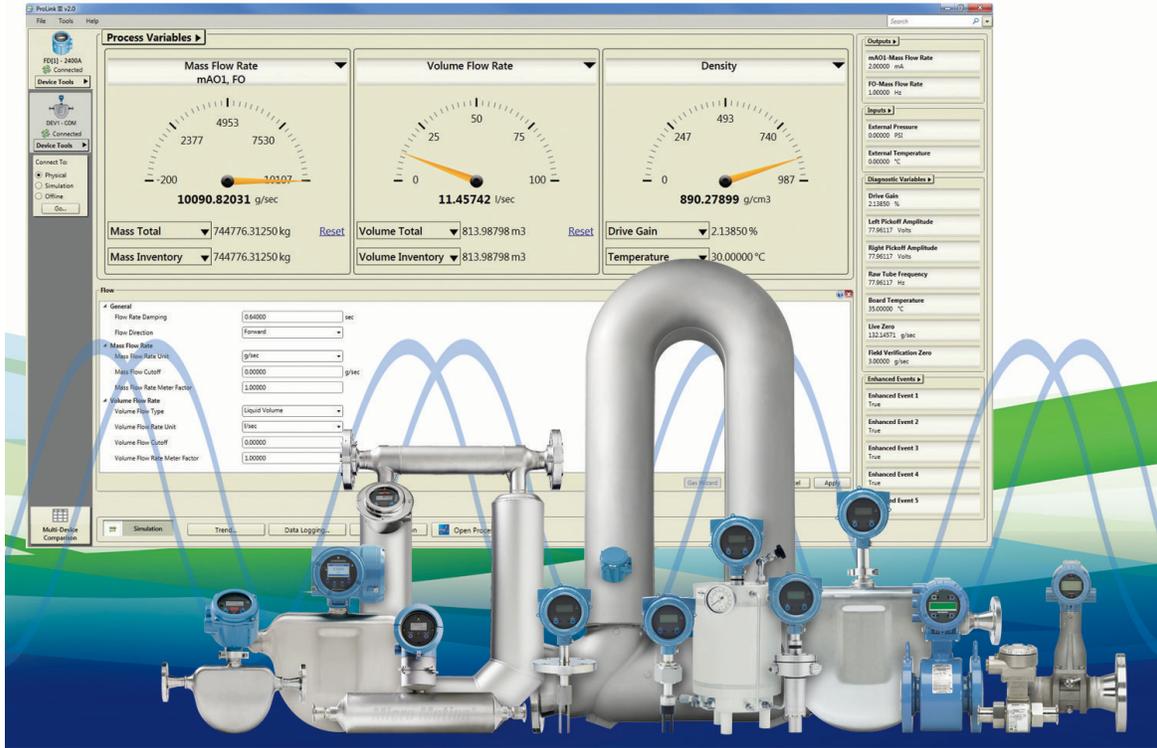


# ProLink™ III ソフトウェア

## Micro Motion™ および Rosemount Flow™ の設定およびサービスツール



世界クラスの設定、サービス、トラブルシューティングツール

- すべての種類の Micro Motion 流量計、密度計、粘度計をサポート
- Rosemount 8600D、8732E、8712E、8712H、8782、8800D をサポート
- 設定ファイルの管理とシミュレーション

プロセス変数と診断の直感的な表示

- プロセスバリアブルの直感的な表示を提供する、業界最先端のデータ可視化およびトラブルシューティングツールである ProcessViz と統合
- 強化されたデータログ機能 (オンデマンドまたは時間ベース)
- グラフィカルプロセス変数トレンドの表示

複数の機器とプロトコルをサポート

- HART®, Modbus® RS-485、PC から 5700 機器への USB-A と USB-A 間の有線通信、Modbus/TCP 通信をサポート
- 複数の機器に同時接続

- 複数の機器を同時に評価するためのプロセス変数比較ツール

## ProLink III の設定とサービスのソフトウェア

ProLink III は、Micro Motion と Rosemount 流量計の設定と管理、プロセスデータの解析に必要な実行力と柔軟性を実現します。ProLink III の使いやすいインターフェースにより、設定や診断のニーズがどれほど複雑な場合でも流量計を素早く稼働させることができます。

ProLink III の直感的なダッシュボードスタイルのインターフェースでは、流量計の健全性評価に必要なすべての情報に同時にアクセスできます。1つの画面からプロセス変数とアラートの状態を容易に表示できます。また、機器によって処理されている、ドライブゲイン、期間、ピックオフ値などの生信号に関する詳細も表示できます。この種の情報は、機器の動作状況をトラブルシューティングする際に非常に役に立ち、コストのかかるダウンタイムを最小限の抑えることができます。

ProLink III には設定機能もあるので、ある機器から設定情報を保存し、別の機器へアップロードすることができます。あるいは、オフライン設定ツールを使って、物理的に接続を行う前に機器を設定することができます。このような機能により、Micro Motion または Rosemount 流量計のセットアップと試運転をより効率的に遂行することができます。

### 長所

- 明確で簡潔なデータの描写を提供する直観的インターフェース
- HART、Modbus、Modbus/TCP サポートを通じた接続性の向上
- タスク志向のインターフェース設計による作業の簡素化
- オンラインによるプロセス変数のトレンド・ツールでプロセスをコントロールするチャンスを浮き立たせることが可能
- Modbus/TCP 接続の使用で遠隔操作によるメーター診断が可能
- 複数のメーターからプロセスデータを同時に表示可能
- オフライン設定ツールで危険な場所にあるメーターへの接続時間を低減
- 機器シミュレーションで、メーターの容量と動作状況を的確に把握
- 印刷可能なレポートの校正とコンフィギュレーションのデータが簡単に確認できるので、素早く機器のセットアップを参照することが可能
- ドラッグ&ドロップ方式のインターフェースによるガイド付き接続ツールで、機器の接続を簡単に設定することが可能

### 各エディションで利用可能な ProLink III の機能

ProLink III は、Micro Motion 流量計または Rosemount 流量計用にそれぞれベーシックとプロフェッショナルの2種類を提供いたします。購入されたタイプに応じて、特定の機能を利用できます。

表 1 : ProLink III Micro Motion ベーシックとプロフェッショナルのタイプ別機能

機能	ベーシック		プロフェッショナル	
	コリオリトランスミッタ	密度計および粘度計	コリオリトランスミッタ	密度計および粘度計
アラート通知	✓	✓	✓	✓
アラート解消ガイド	✓	✓	✓	✓
データロギング			✓	✓
機器のシミュレーション			✓	✓
診断/入力/出力表示	✓	✓	✓	✓
機器の詳細設定	✓	✓	✓	✓

表 1: ProLink III Micro Motion ベーシックとプロフェッショナルのタイプ別機能 (続き)

機能	ベーシック		プロフェッショナル	
	コリオリトランスミッタ	密度計および粘度計	コリオリトランスミッタ	密度計および粘度計
ガイド付きのプロセス・サポート・ツール			✓	✓
既知密度検証の起動		✓		✓
既知密度検証のレポート		✓		✓
機器設定の読み込みと保存	✓	✓	✓	✓
Modbus®/TCP サポート	✓	✓	✓	✓
複数機器比較ツール			✓	✓
オフライン設定管理			✓	✓
印刷設定			✓	✓
プロセス変数トレンド (1 台以上の機器)			✓	✓
ProcessViz (ProcessViz を使って開ける記録データファイルを表示)			✓	✓
スマートメータ性能検証™の起動	✓		✓	
スマートメータ性能検証のレポート(1)	✓		✓	

(1) スマートメータ性能検証プロライセンスが必要

表 2: ProLink III Rosemount 流量計ベーシックとプロフェッショナルのタイプ別機能

機能	ベーシック		プロフェッショナル	
	電磁流量計トランスミッタ	渦流量計トランスミッタ	電磁流量計トランスミッタ	渦流量計トランスミッタ
アラート通知	✓	✓	✓	✓
アラート解消ガイド	✓	✓	✓	✓
データロギング			✓	✓
機器のシミュレーション			✓	✓
診断/入力/出力表示	✓	✓	✓	✓
フィルタ可視化ツール				✓
トランスミッタの全ての設定	✓	✓	✓	✓
ガイド付きのプロセスサポートツール			✓	✓
機器設定の読み込みと保存	✓	✓	✓	✓
複数機器比較ツール			✓	✓
オフライン設定管理			✓	✓
プロセス変数トレンド (1 台以上の機器)			✓	✓
ProcessViz (ProcessViz を使って開ける記録データファイルを表示)			✓	✓

表 2: ProLink III Rosemount 流量計ベーシックとプロフェッショナルのタイプ別機能 (続き)

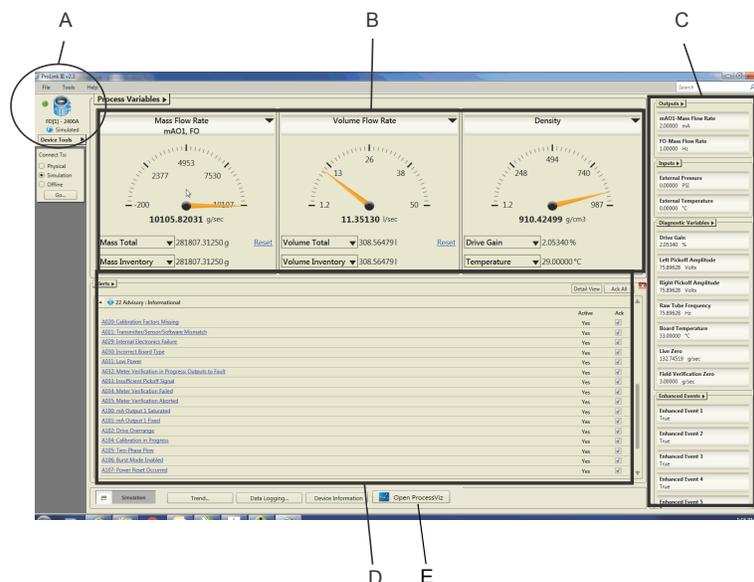
機能	ベーシック		プロフェッショナル	
	電磁流量計トランスミッタ	渦流量計トランスミッタ	電磁流量計トランスミッタ	渦流量計トランスミッタ
スマートメータ性能検証の起動	✓		✓	
スマートメータ性能検証のレポート(1)	✓		✓	

(1) スマートメータ性能検証ライセンスが必要:

- 8712EM、8732EM、および8750W トランスミッタの場合の追加モデルコードはDA2
- 8782 トランスミッタの場合の追加モデルコードはMV

## ProLink III – プロセスが明確にわかるウィンドウ

ProLink III では、1つのメイン表示画面で主要プロセス情報を明確にしっかりと表示します。ProLink III により、システムのプロセス変数をより効率的に管理できるので、プロセスの問題の調査にかかる時間を節約し、ローカルの機器ディスプレイを直接見る必要性を減らすことができます。機器の出力をどのように設定しても、ProLink III では、トータライザやインベントリデータなど、機器から提供されるすべてのプロセス変数情報が表示されます。



- A. トランスミッタのタイプ、アドレス、接続された各機器のアラームステータス、シミュレーションされた構成、またはオフライン構成を表示
- B. プロセス測定値に素早くアクセスすることが可能
- C. その他のプロセス測定値、診断バリエーションを容易に表示し、構成された設定に素早くアクセスして表示、変更することが可能
- D. 接続された機器のアクティブアラートを表示し、各アラートをトラブルシューティングするための推奨される対処方法を容易に表示
- E. ProcessViz ソフトウェアに ProLink III からアクセス ProcessViz ボタンは、ProcessViz がインストールされ、ライセンス付与されている場合のみ有効になります。

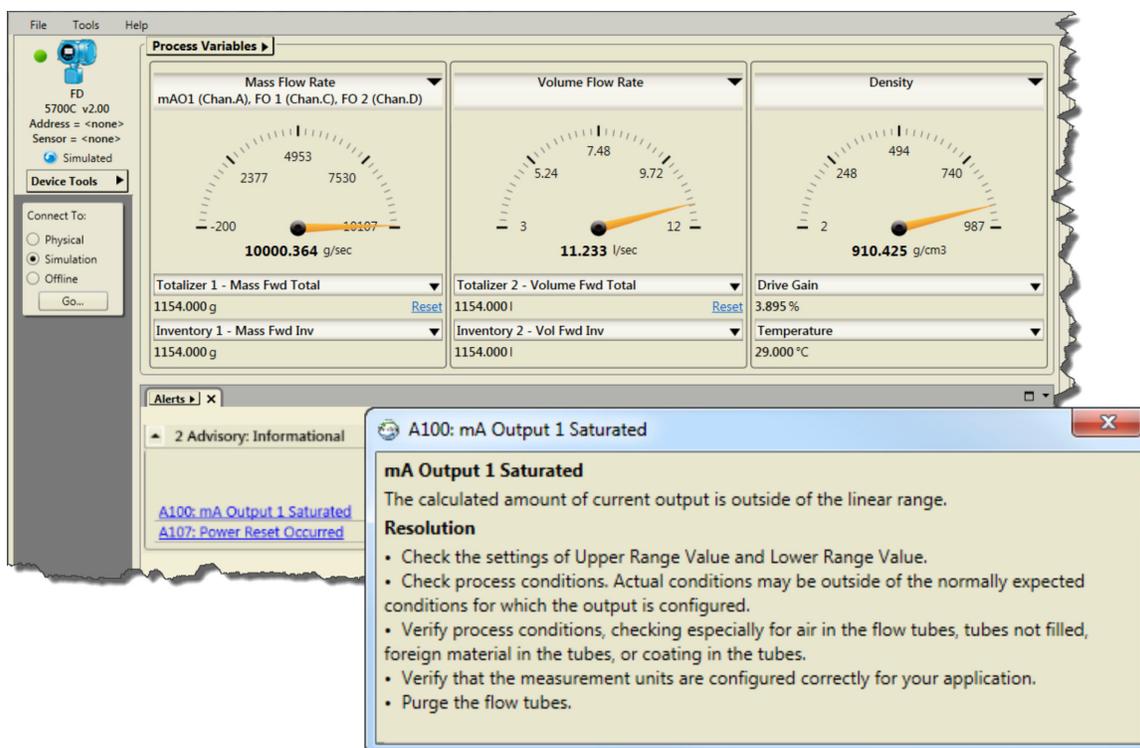
## 1つのアクセスポイントから機器を容易に設定

ProLink III では、1つのアクセスポイントからすべての設定情報にアクセスできるので、必要な設定に素早く移動できます。ProLink III から設定の変更が機器に伝わるので、ユーザーは変更の効果を評価し、処理に合った適切な設定を選ぶことができます。さらに、コンピュータで設定をファイルに保存したり、ファイルから設定を読み込んだりできるので、1台または複数のデバイスのセットアップが容易になります。この同じ機能を使うと、機器間で転送されたデータを選択することもでき、機器の設定を簡単にバックアップできます。

## アラートに容易にアクセスして、表示および確認

機器に初めて接続すると、メイン画面の ProLink III によってアラートの状態が表示されます。この最初のプロセスの表示画面により、アラートの処理とトラブルシューティングを迅速、効率的に実行できます。アラート情報は重要度別になっているので、改善措置を素早く理解し、優先順位を決めることができます。

また、アラート情報にはワンクリックでアクセスできるため、問題の原因を迅速に特定して対処できます。

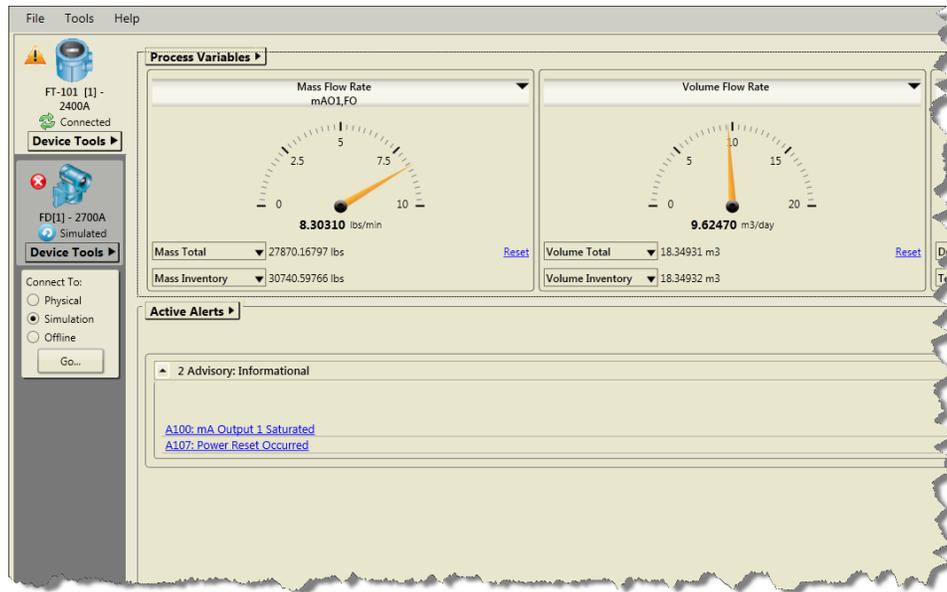


アラートビューを使用すると、アラートの状態を素早く効率的に管理できます。問題の原因を特定し対処する方法がわかっているので、アラートの優先順位を容易に理解し、即座にサポートを受けられます。

## 複数の機器に同時接続

プロセスで複数の機器に同時接続することができます。この機能により、システム性能が確認しやすくなり、複数の機器におけるプロセスの状態をより簡単にトラブルシューティングできます。さらに、ProLink III では複数機器比較ツールが用意されているので、接続された各機器の出力を1つのメイン画面から確認できます。その結果、各機器をそれぞれ接続しなければならない場合よりも効率的かつスムーズに流量計をモニタできます。同じプロセス条件下でテスト流量計の性能を既知の基準流量計と比べて検証する場合に、この機能がよく使用されます。

複数の機器に接続する場合は、目的のトランスミッタタブを選択またはクリックすれば、各種トランスミッタ間を容易に移動できます。ハイライト表示されたタブは、アクティブな機器を示します。



複数機器比較ツールを使用すると、接続した機器のプロセス変数、ステータス、設定を表示し、比較できます。

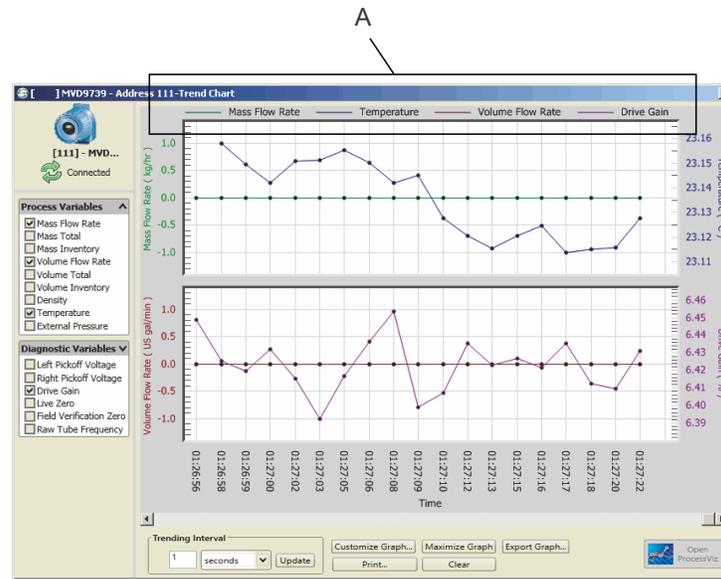
The screenshot shows the 'Multi-Device Comparison' window. It compares two devices: FD11 - 2400A (Simulated) and FD11 - Model 270... (Simulated). The table below lists various variables and their values for both devices.

Variables	FD11 - 2400A Simulated	FD11 - Model 270... Simulated
<b>Process Variables</b>		
Mass Flow Rate	10030.68 g/sec	10040.95 g/sec
Mass Total	231365.2 kg	211394.3 kg
Volume Flow Rate	10.8953 l/sec	11.27643 l/sec
Volume Total	242.9773 m <sup>3</sup>	219.0184 m <sup>3</sup>
<b>Output Variables</b>		
mA Output 1 Value	2 mA	2 mA
Event 1 Status	False 0=OFF 1=ON	False 0=OFF 1=ON
Event 2 Status	True 0=OFF 1=ON	True 0=OFF 1=ON
<b>Diagnostics</b>		
Left Pickoff Amplitude	0.6237 Vpp	0.6237 Vpp
Left Pickoff Voltage	79.9997329711914 Volts	79.4817169189453 Volts
Line RTD Resistance	56.6931915283203 Ohms	56.6931915283203 Ohms
<b>Configuration</b>		
Base Mass Unit	g	g
Base Volume Unit	liters	liters

## トレンドリングとデータロギングでシステムの動作状況をモニタ

ProLink III のトレンドリングとデータロギング機能を使用すると、選択したプロセス、診断、出力変数をグラフ化できます。時系列で状況を見ることができるので、プロセスの実際の状態を把握して、プロセスの生産性と質の改善に必要な技術を見つけることができます。データ・ロギング・ツールで記録されたデータを保存して外部プログラム(表計算アプリケーションなど)で表示し、データをグラフ化することで、将来の分析を行うことができます。また、ProLink III のトレンドリングツールでは、1台以上の機器についてグラフ化した主要なプロセス変数を瞬時に表示できます。

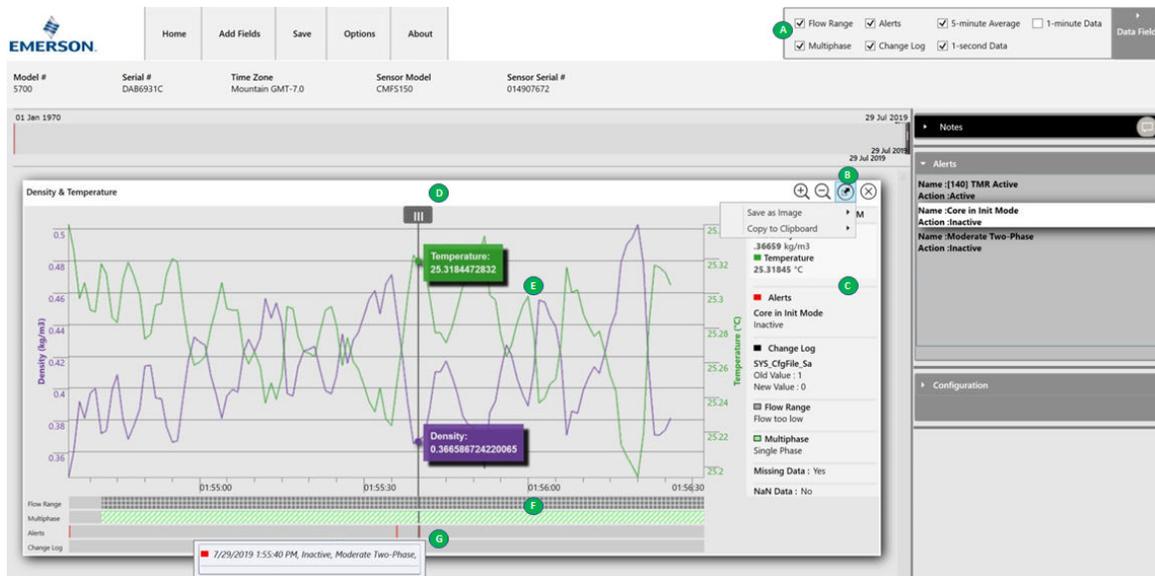
トレンドリングおよびデータロギングを使うと、プロセスで起こっている状況を追跡し、モニタできます。



A. グラフ上部の項目は、グラフに表示されている変数を示し、かつ、各変数を表現するために選択された色を示します。

## ProcessViz でデータを視覚化し、トラブルシューティング

ProcessViz を使用すると、プロセスバリエーションを表示してこれらを管理、改善、トラブルシューティングをさらに効率的に行うことができるので、時間とコストを節約できます。



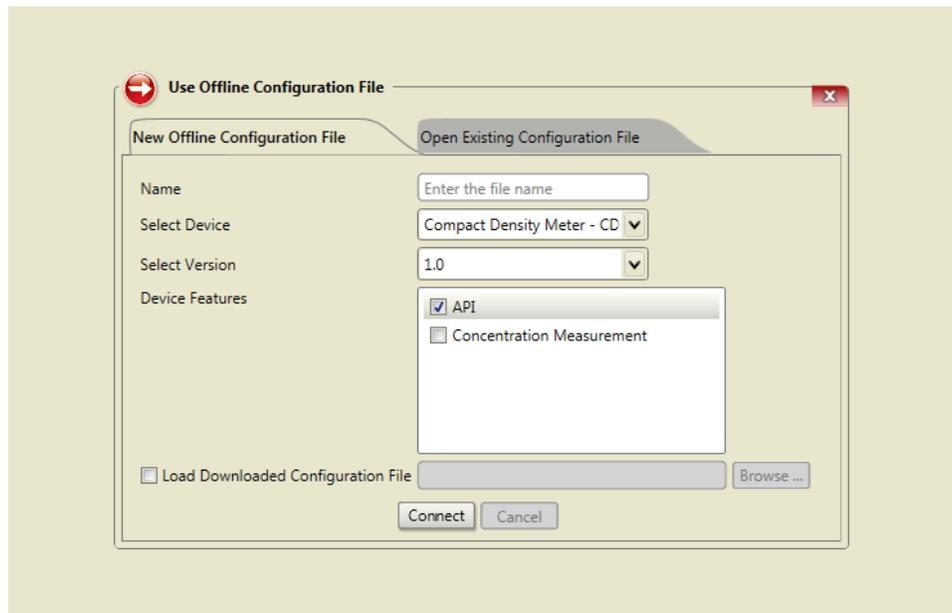
- データ値オプションの表示をカスタマイズ
- 分析をエクスポート、保存、共有
- アラートを含むプロセスバリエーションのすべての情報を単一ビューで表示
- プロセスバリエーションの詳細を簡略化
- プロセスの動作と中断の正確な時間をピンポイントで特定
- 詳細なアラートとタイムスタンプ情報を表示

## トランスミッタのセットアップをスムーズに進めるオフライン設定ツール

オフライン設定を使用して、使用頻度の高い機器設定のテンプレートを作成して名前を付け、後で使用できるようにデータベースに保存できます。このテンプレートを使って、それぞれわずかに異なる対象の物理的機器に機器設定をコピーできます。

オフライン設定の作成

オフライン設定の作成を選択して、既存の設定ファイルを開くか新しい設定ファイルを作成すれば、1 台以上の機器のセットアップを効率よく管理できます。



## 機器のシミュレーションでメータの機能を簡単に表示

機器をシミュレーションすることで、実際に機器に接続しなくても、機器設定データを作成、編集できます。機器のシミュレーションを使用すると、ほとんどの機器設定画面にアクセスし、編集した後、変更した設定ファイルを後で使用できるように保存できます。シミュレーションの間、サンプルの機器出力が提供されるので、多くの ProLink III 画面にアクセスして、ほとんどの機能の仕組みを確認できます。ただし、出力のシミュレーションは、機器の動作の正確な再現ではありません。

機器のシミュレーション

機器のシミュレーションでは、1 台以上の機器への接続をシミュレーションできます。この機能を使用すれば、ProLink III インターフェイスに簡単に移動して、利用可能な主要機能を把握できます。



## 高度な応用のサポート

機器にスマートメータ性能検証、濃度計測、API 基準値/石油測定、ディスクリートバッチングなどの高度な機能があるか、充填と投薬ソフトウェアをインストールした場合は、これらのオプションを ProLink III で設定できます。機器で測定とオプションがサポートされていれば、ProLink III によって適切なメニューとメニューオプションが自動的に埋め込まれます。

## サポートされている Micro Motion/Rosemount 流量計

1500 および 2500	8800D
1700 および 2700	9739 MVD
2200S	LF シリーズ
2400S	コンパクト密度計 (CDM)
シリーズ 3000 (MVD)	FMT
4200	フォーク型密度計 (FDM)
5700	フォーク型粘度計 (FVM)
8600D	ガス密度計 (GDM)
8712E	重質燃料粘度計 (HFVM)
8712H	MVD™ ダイレクト接続™
8732E	比重計 (SGM)
8782	

## ProLink III インストールキット

ProLink III は、お使いのコンピュータからトランスミッタの RS-485 または HART 端子にシリアルデータを通信できます。この接続を確立するのに役立つ ProLink III 設置キットをご購入いただけます。お使いの接続に適したコンバータまたはアダプタが含まれています。Micro Motion と Rosemount 流量計では、ProLink III と同梱できる購入可能パッケージに含まれている特定のコンバータとアダプタを使用することを推奨します。詳細については、ご注文方法を参照してください。

## 通信プロトコル

プロトコル	物理層
HART	Bell 202
	RS-485
Modbus	RS-485
	ユニバーサル・シリアル・バス (USB)
Modbus/TCP	イーサネット

## システム要件

サポートされているオペレーティングシステム

32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) オペレーティング・システムのいずれかの場合

- Windows Server 2016
- Windows 10
- Windows 8
- Windows 7
- Windows Vista (Service Pack 1 以降)

ハードウェア要件

Windows OS バージョンのハードウェア要件を使用してください。

## ご注文方法

### 製品の説明

基本モデルコード	製品の説明
PLK	ProLink ソフトウェア

### ProLink バージョン

コード	ProLink バージョン
1	ProcessViz データ可視化ソフトウェア
2 <sup>(1)</sup>	ProLink II から ProLink III プロフェッショナルバージョンへのアップグレード
3	ProLink III ソフトウェア - プロフェッショナルバージョン
4 <sup>(1)</sup>	ProLink III ベーシックから ProLink III プロフェッショナルへのアップグレード
5	ProLink III Professional バージョンソフトウェアおよび ProcessViz データ可視化ソフトウェア
9	ProLink III ソフトウェア - ベーシックバージョン

(1) ProLink の前バージョンの、必要事項を入力した所有権宣言 (Declaration of Ownership) が必要です (ソフトウェアのアップグレードとしてのみ入手可能)。

### ライセンス

コード	ライセンス
U	単一ユーザー (1 台のコンピューター上に 1 部の ProLink III Professional ソフトウェアおよび/または ProcessViz ソフトウェア)

## 言語

コード	言語
E	英語
F	フランス語
G	ドイツ語
M	中国語
S	スペイン語
R	ロシア語
P	ポルトガル語

## コンバータ

コード	コンバータ
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ProLink III: なし - すべての ProLink III アップグレードコードで利用可能</li> <li>■ ProcessViz: コンバータは ProLink III のみで必要</li> </ul>
V <sup>(1)</sup>	RS-232 と Bell 202 HART コンバータ間 (一体型ケーブル付き)
M <sup>(1)</sup>	RS-232 と RS-485 Modbus/HART コンバータ間 (テスターとケーブル付き)
D <sup>(1)</sup>	RS-232 と Bell 202 HART コンバータ間と RS-232 と RS-485 Modbus/HART コンバータ間の両方 (オプション V と M)
E <sup>(1)</sup>	USB と Bell 202 HART コンバータ間 (一体型ケーブル付き)
F <sup>(1)</sup>	USB と RS-485 コンバータ間 (一体型ケーブル付き)
G <sup>(1)</sup>	USB と Bell 202 HART コンバータ間 (一体型ケーブル付き)、および USB と RS-485 Modbus/HART コンバータ間 (一体型ケーブル付き) (オプション E と F)
H <sup>(1)</sup>	USB ケーブル タイプ A (両端)、5700 トランスミッタ用
J <sup>(1)</sup>	USB ケーブル タイプ A (両端)、5700 トランスミッタ用、および USB と Bell 202 Hart コンバータ間 (一体型ケーブル付き) (オプション H と E)
K <sup>(1)</sup>	USB ケーブル タイプ A (両端)、5700 トランスミッタ用、および USB と RS485 コンバータ間 (一体型ケーブル付き) (オプション H と F)
L <sup>(1)</sup>	USB ケーブル タイプ A (両端)、5700 トランスミッタ用、および USB と Bell 202 Hart コンバータ間 (一体型ケーブル付き)、および USB と RS485 コンバータ間 (一体型ケーブル付き) (オプション H、E、F)

(1) ProLink III アップグレードコード 3、5、9 のみで利用可能。







詳細は、[www.emerson.com](http://www.emerson.com) をご覧ください。

©2021 Micro Motion, Inc. 無断複写・転載を禁じます。

Emerson のロゴは、Emerson Electric Co.の商標およびサービスマークです。Micro Motion、ELITE、ProLink、MVD および MVD Direct Connect は、エマソン・プロセス・マネジメントの関連会社のいずれかのマークです。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

